

## 福山市立城西中学校第1学年 英語科学習指導案 単元名：Unit7 ブラジルから来たサッカーコーチ

日時・場所 2017年（平成29年）11月17日（金） 北校舎4階 英語教室  
学年・学級 1学年2組（男子11名 女子15名 計26名）

### 単元について

中学校学習指導要領外国語における「話すこと」の目標は、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにすることである。言語活動として、(イ)自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること、(ウ)聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりなどすること、(エ)つなぎ言葉を用いるなどのいろいろな工夫をして話を続けることが挙げられている。

本単元では、相手について質問をしながら自分が知りたい情報を引き出すという場面設定で、登場人物の洗太のサッカーコーチであるパウロの故郷や娘が話題の中心になる。新出言語材料としては、①疑問詞 **who**、②**what**+名詞～？、③**which** を用いた疑問文を扱う。質問内容を焦点化し、口頭練習を十分に取り入れて課題となる文法知識の定着を図ることができる単元である。小学校における外国語活動で、“What do you like?” “What do you want?” “What’s this?” (Hi, friends! 1) や “What time do you get up?” (Hi, friends! 2) など、インタビューなどを中心にしたコミュニケーション活動を体験している。中学校では Unit5 で **what** を用いて、相手により適切に質問をしている。この単元では、疑問詞を用いて相手にさまざまなことをたずねる質問のモデル文として活用が可能な言語表現が多く用いられている。したがって、相手とコミュニケーションをとる際に必要な表現やその使い方を教科書を通して学び、実際に英語で相手へ質問をすることができる力を養うことをねらいとしている。

また、本単元は本校で身に付けさせる21世紀型“スキル&倫理観”のコミュニケーション力・表現力・忍耐力のうちの“表現力”を重点項目に設定しており、相手へのより広がりのある問い方を身につけることで、より広がりのある表現力を育むことが期待される。

### 生徒観

2017年度（平成29年度）1学期 Unit3 パフォーマンステストより

あなたは、ALTの先生に英語で自己紹介をすることになりました。(1) 次の①～③の条件を満たし、あなたの自己紹介をしましょう。また、(2) 制限時間3分間（自己紹介を含む）の中でAAAルール（相手の質問に対して、Answer（答える）、Add（加える）、Ask（尋ねる）の形で応答する）を用いて、ALTの先生にできるだけたくさん質問をしましょう。

- 《条件》 ① 4文以上の英文で話すこと  
② 内容はつながりのあるものを話すこと  
③ but または too を用いた英文を必ず含むこと

≪ (1) 自己紹介 ≫

類型	解答類型	人数	%
1 (○)	一般動詞やbe動詞を用いた文の構造を理解し、but や too を用いながら、4文以上の英文で相手に正しく伝えることができている。	21	42.0

2 (△)	類型1において、文法的な誤り（冠詞の欠落など）、発音やイントネーションの誤りが1～3カ所ある。	13	26.0
3 (×)	類型1において、文法的な誤り（冠詞の欠落など）、発音やイントネーションの誤りが4カ所以上ある。	7	14.0
4 (×)	4文以上の英文で話していない。	0	0.0
5 (×)	つながりのある内容で話していない。	7	14.0
6 (×)	but や too を用いて話していない。	0	0.0
7 (×)	上記以外の解答	2	4.0
8 (×)	無回答	0	0.0

#### 《 (2) AAA の数 》

回数 (回)	0	～3	～6	～9	～12	～15	16～
人数	0	2	7	23	11	4	3
%	0.0	4.0	14.0	46.0	22.0	8.0	6.0

#### 調査結果・調査の様子からみる課題

##### 【課題となる力】

- (1) 基本的な文のきまり（語順、冠詞など）を理解し、正しい英文で表現（話す・書く）する力。
- (2) 聞き手に分かりやすい展開や構成を考えて意図的に表現（話す・書く）する力。
- (3) つなぎ言葉や身振り手振りなどを用いて、より表現性をもって相手に伝える力。

##### 【指導上の課題】

- (1) 新出の学習内容の定着に指導が偏り、既習事項の継続的な指導が不十分。
- (2) 接続詞や代名詞、話の展開などに着目し、つながりを考えて読んだり書いたりする指導が不足。
- (3) 単純な繰り返し練習に偏り、コミュニケーションの手段として読み手、聞き手意識を持てるような活動の提示や活動の目的の明確化が不十分。

## 指導観

#### 指導のポイント

##### 【指導の工夫】

##### (1) 課題設定

課題意識、目的意識をもって学習に取り組むことができるよう、課題設定を工夫する。また、他者とよりよいコミュニケーションを図ることができるよう、英語で伝え合うなどの対話的な言語活動を設定する。活動を行う際には、活動あって学びなしに陥らないよう、生徒自身が見通しを持って取り組み、自らの学習活動を振り返り、次につなげられるような学習が展開できるよう留意する。

## (2) 音読

他者とのコミュニケーションの基盤づくりにつながるよう、発音・アクセントの正確さとともに、書かれた内容の場面や意味内容にふさわしく音声化するような場を設定する。

## (3) 帯活動

終末の表現活動につながる語彙や表現、基本文などを口頭・筆記練習、ペア活動などを継続的に行いながら定着を図る。また、“定着”という視点に加え、既習事項や様々な表現を用いた伝え合う活動（1 minute talk など）を段階的・継続的に行い、自分の言いたいことを即興で表現できる範囲をスモールステップで拡大していく。

## 単元の目標と評価規準

- (1) 福山市の ALT の先生にビデオインタビューを通して聞きたい事柄をたずね、必要な情報を得る。
- (2) 間違ふことを恐れずに、積極的に表現する。
- (3) 疑問詞（who, what＋名詞, which）を用いた文の形、意味、用法を理解している。

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
①間違ふことを恐れずに、積極的に表現しようとしている。	①福山市の ALT の先生にビデオインタビューを通して聞きたい事柄をたずね、必要な情報を得ることができる。		①疑問詞（who, what＋名詞, which）の用いた文の形、意味、用法を理解している。

## 本校で身に付けさせる 21 世紀型 “スキル&倫理観”

コミュニケーション力	★表現力	忍耐力
話し手や書き手の意向を理解し、適切に応じる力	自分の考えや気持ち、事実などを聞き手や読み手に正しく伝える力	自分の考えや気持ちをジェスチャーやつなぎ言葉を用いるなどの工夫をして話を続けようとする態度

★本単元で身に付けさせる 21 世紀型 “スキル&倫理観” の重点

## 単元の終末におけるパフォーマンス課題

### パフォーマンス課題 “video interview”

福山市に新しく来た ALT の先生から、以下のような依頼がきました。

『私たちは、今年の夏に福山市にやって来た ALT です。12月に数名の ALT が城西中学校へ訪問することになりました。みなさんが興味のあることについて自己紹介等をしたいと思えます。聞いてみたいことがあればビデオレターで届けてください。みなさんに会える日を楽しみにしています。』

ALT の先生たちにビデオレターを用いてグループで ALT の先生にインタビューをしましょう。

パフォーマンス課題	評価	評価基準	
		内容・構成	表現
“video interview” 福山市のALTの先生たちについて知るために、ビデオインタビューをしよう！	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>文法・語彙に誤りがなく、正確な英語表現を用いて発表の中で、相手の状況やグループの意向に合わせた適切な質問をすると共に、その話題についての自分自身の付加情報を加えるなどして発表を発展させることができる。</li> </ul>	ジェスチャーやアイコンタクト、適切な声の音量、ビジュアルエイドを使い発表している。
	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>文法・語彙に誤りがなく、正確な英語表現を用いて発表の中で、相手の状況やグループの意向に合わせた適切な質問をすることができる。</li> <li>A評価において、文法・語彙に誤りがあるが、理解に影響しない。</li> </ul>	ジェスチャーやアイコンタクト、適切な声の音量、ビジュアルエイドのいずれかを使い発表している。
	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>文法・語彙に誤りがなく、正確な英語表現を用いて発表の中で、相手の状況やグループの意向に合わせた適切な質問をすることができるが認められない。</li> <li>B評価において、文法・語彙に誤りがあるが、理解に影響しない。</li> </ul>	発表が単調で、工夫が見られない。

評価	例
A	Hi, I'm Aya. Nice to meet you. I like soccer very much. It's interesting. What sport do you like?
B	Hi. What sport do you like? Which do you like, soccer or baseball?
C	Hi. Do you like sports?

## 指導と評価の計画

(全10時間)

次	学習内容	評価		家庭学習
		評価規準	評価方法	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○福山市のALTの先生から、「自分たちに福山市についてもっと教えてほしい。」と依頼があったことを知る。(到達目標やパフォーマンス課題を確認する。)</li> <li>○インタビューを行う際に必要な知識・技能、表現方法を見つけ出し、より良いインタビューにするために、どのような学習が必要かを考える。(学習内容の見通しを持つ。)</li> </ul>			
2	≪インタビューに必要な表現内容の向上≫ ○疑問詞 who の意味や用法を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・疑問詞 who を用いた文の形・意味・用法を知る。</li> <li>・疑問詞 who を用いた文を使えるように練習する。</li> </ul>	エの①	ペーパーテスト(後日)	ワークシート
3	≪インタビューに必要な表現内容の向上≫ ○what+名詞の意味や用法を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・what+名詞を用いた文の形・意味・用法を知る。</li> <li>・what+名詞を用いた文を使えるように練習する。</li> </ul>	エの①	ペーパーテスト(後日)	ワークシート

4	<p>《インタビューに必要な表現内容の向上》</p> <p>○疑問詞 which の意味や用法を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・疑問詞 which を用いた文の形・意味・用法を知る。</li> <li>・疑問詞 which を用いた文を使えるように練習する。</li> </ul>	エの①	ペーパーテスト (後日)	ワークシート
5 ・ 6 ・ 7	<p>《インタビューに必要な表現方法の向上》</p> <p>○パウロと洗太の対話を聞いたり読んだりすることを通して内容を理解し、その内容が表現されるように音読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文を聞き取ることを通して大まかな内容を捉える。</li> <li>・音読練習をする。</li> <li>・ロールプレイ読みを通して、他者とコミュニケーションをとるための表現力を高める。</li> </ul>			ワークシート
8 本 時	<p>○ビデオインタビューの構成・原稿を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブレンストーミングでどのような情報が必要かを考え、それらをもとにビデオインタビューの構成を考える。(グループ)</li> <li>・構成の担当部分のインタビューのシナリオを作成する。(個人)</li> <li>・ピアチェックを行い、アドバイスをする。また、そのアドバイスをもとに原稿を加筆・修正する。</li> </ul>	アの①	活動の様子	
9	<p>○ビデオインタビューの原稿の再構成・練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が点検した際に多く見られた間違いを含む英文を一覧にして配付し、間違い探しをする。</li> <li>・教師のアドバイス、間違い探しでわかったことをもとに加筆・修正をする。</li> <li>・インタビュー練習をする。</li> </ul>	アの①	活動の様子	
10	<p>○ビデオインタビューを作成する</p> <p>○単元の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビデオインタビューを見て、客観的に振り返り、今後に生かすべきポイントをあげる。</li> </ul>	アの① イの①	活動の様子 ビデオインタビュー	



- ・ 適語を導き出すための問いを考え、確認する。

- 場面を設定し、本時の課題に近い形での対話の練習をする。(ペア)
- ・ ペアのどちらかが提示された人物になり、対話をする。

- ・ Who is your favorite idol group?
- ・ Which do you like, cats or dogs?
- ・ What sport do you play?

《例》

Hello! I'm Tom.  
I'm from America.  
I like sports.

## 2. 本時の目標の確認

- ALT からのビデオメッセージを見て、本時の課題の見通しを持つ。

Today's goal : 新しく来日した ALT の先生たちへのビデオメッセージの原稿を作成しよう。

## 3. 展開

- ビデオメッセージを送るまでの流れを確認する。
- ビデオメッセージの原稿を作成する。(個人)
- ピアチェックを行い、アドバイスをし、または受ける。そのアドバイスをもとに原稿を加筆・修正する。(ペア→個人)

◆ 机間指導を行いながら、活動の様子を観察し、生徒の課題解決の状況に応じて声かけをする。

◆ student teacher を設定し、生徒同士でフォローし合える体制をつくる。

◇ 必要に応じて、内容の良い点、課題点等を全体等で共有する。

- ・ Who is your favorite singer?
- ・ What food do you like?
- ・ Which do you like, Japan or your country?

など

アの①  
間違えることを恐れず、積極的に表現しようとしている。  
(活動の様子)

<p>4. 本時の学習のまとめをする</p> <p>○振り返りを記入する。</p>	<p>◇課題に対して、これまでの学習を活かした点や難しさを感じた点などを振り返らせ、次時の指導につなげる。</p>	
---	---	--